

県立広島大学大学院総合学術研究科における大学院生の教育研究環境に関するアンケート調査報告（令和２年度実施）

実施期間 令和３年２月～令和３年３月

アンケート配布数：127名（人間文化学専攻 14名，情報マネジメント専攻 19名，生命システム科学専攻 46名，保健福祉学専攻 48名）

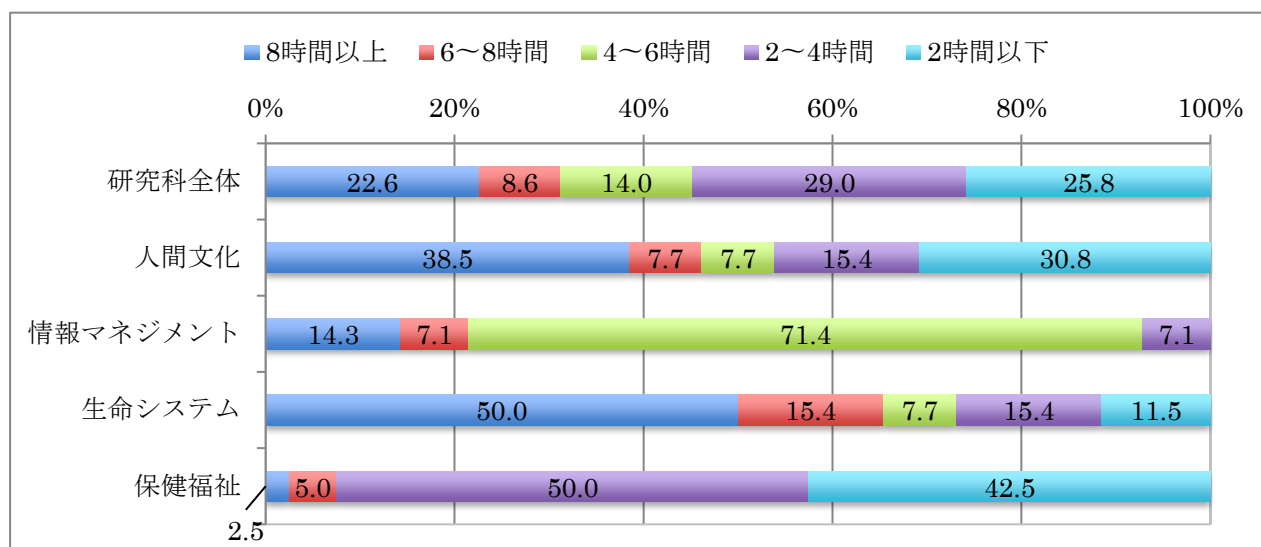
回収数：93名（人間文化学専攻 13名，情報マネジメント専攻 14名，生命システム科学専攻 26名，保健福祉学専攻 40名）

令和元年度アンケート調査では，総計 103 名（65.2%）の院生が回答した。専攻毎の回収率は，人間文化学専攻 70.4%，情報マネジメント専攻 100%，生命システム科学専攻 69.0%，保健福祉学専攻 44.2%であった。

【学習・研究・授業に関する質問】

1. あなたが学修や研究に充てる１日あたりの時間。

1	8時間以上	2	6～8時間	3	4～6時間	4	2～4時間	5	2時間以下
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------



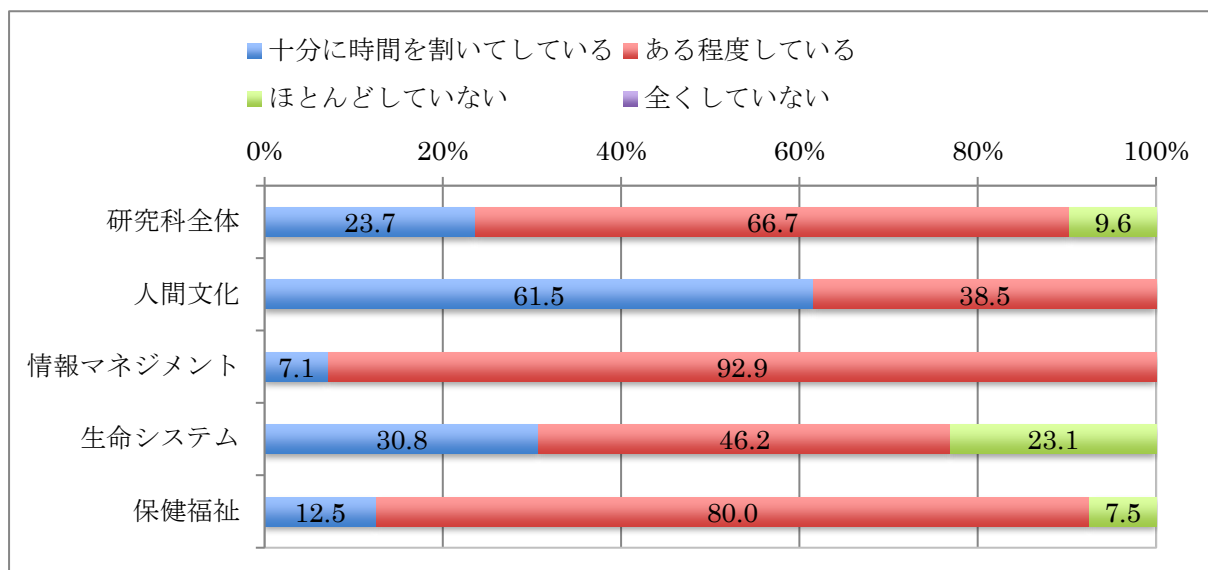
研究科全体では，学習や研究にあてている時間が「8時間以上」が22.6%，「6～8時間」が8.6%，となっている。専攻の特性により分布が異なっている。

保健福祉学専攻など社会人の多い専攻では，1日あたりの学習や研究にあてる時間が少なくなっているが，長期履修制度の活用により，計画的に教育課程を履修し，研究時間を確保している。

一方で，社会人が少ない生命システム科学専攻では「8時間以上」が50%，「6～8時間」が15.4%と研究時間が多くなっている。

2. 履修している授業のために、授業外学修（課題、準備、復習等）をしている。

1	十分にしている	2	ある程度している	3	ほとんどしていない	4	全くしていない
---	---------	---	----------	---	-----------	---	---------

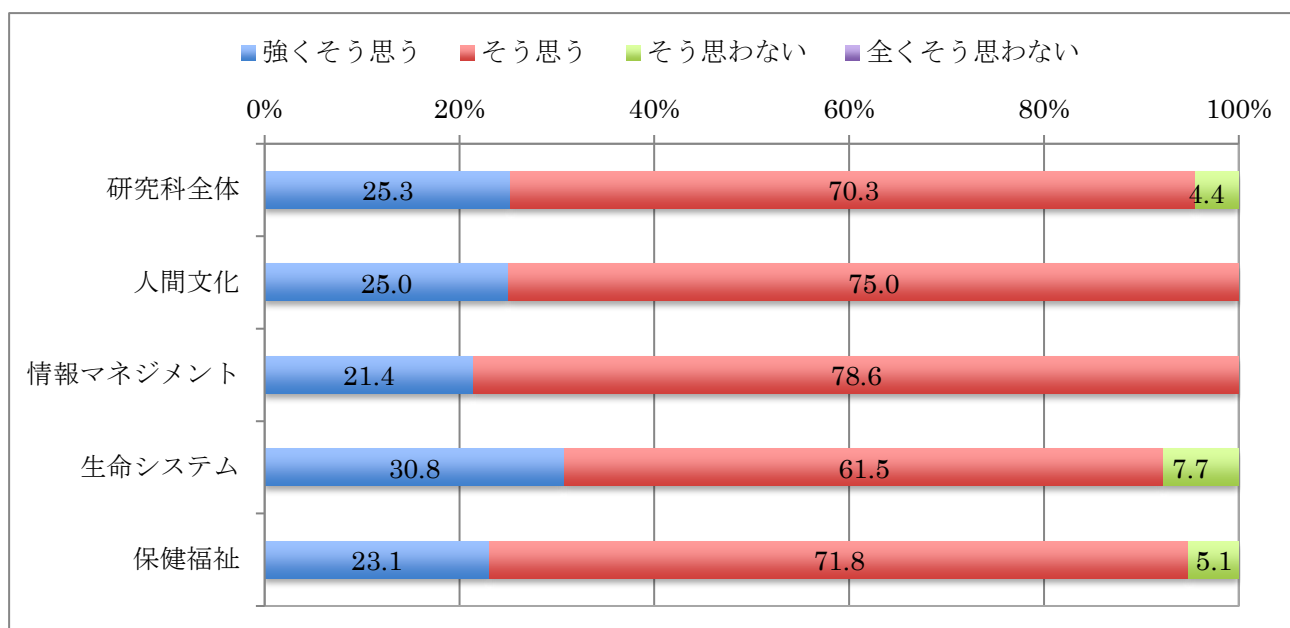


研究科全体で肯定的な回答は 90.4%であった。

多くの専攻が約 90%以上の学生が「十分に時間を割いている」「ある程度している」と回答しており、意欲的に取り組んでいることがうかがえる。生命システム科学専攻については他専攻よりやや少ないが、日々の研究に時間を費やしているため授業外学修の時間が少なくなっている。

3. あなたが履修した、又は履修している授業は、目標が明確で体系的に行われている。

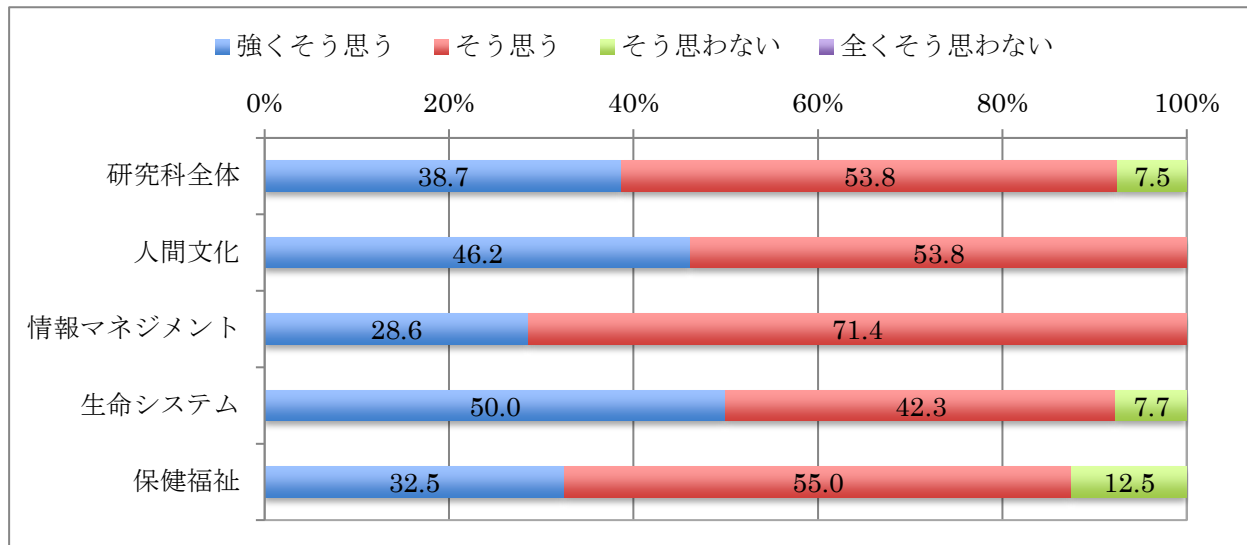
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



研究科全体で、「強くそう思う」、「そう思う」と回答した割合は 95.6%であり、授業の目標は明確で、体系的と感じている。

4. 教員の授業に対する準備は十分で、内容がよく整理されている。

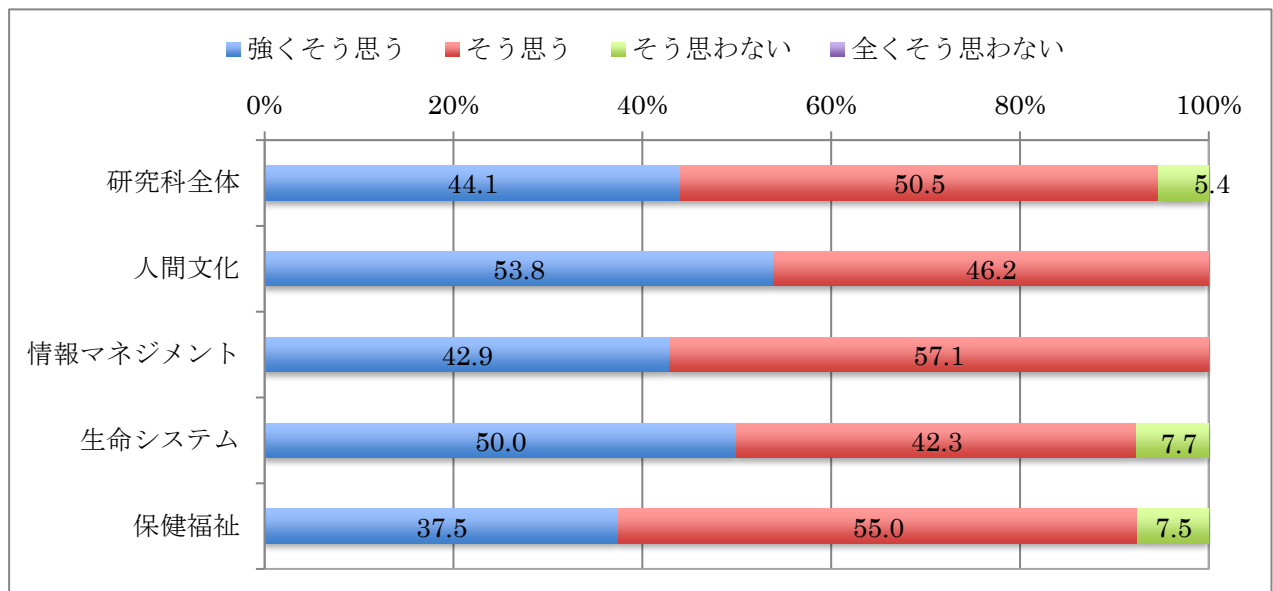
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



肯定的な回答は90%以上となっており、講義に対する教員の準備は十分で、内容は整理されていると回答している。人間文化学専攻、情報マネジメント専攻では「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生は100%であった。

5. 教員の研究内容や専門領域が伝わる良い授業が行われている。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------

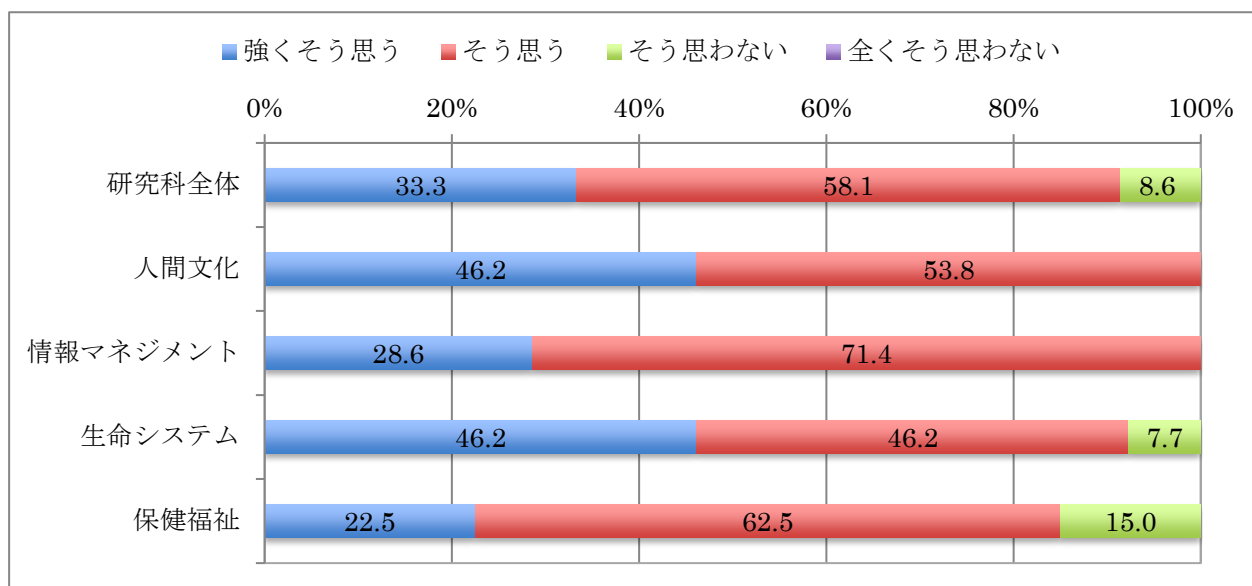


いずれの専攻でも肯定的な回答は90%以上となっており、研究内容や専門領域の伝わる良い講義であったかの質問に対して「強くそう思う」または「そう思う」と回答している。

人間文化学専攻、情報マネジメント専攻では肯定的回答が100%であった。

6. 授業内容は大学院の授業として適切に行われている。

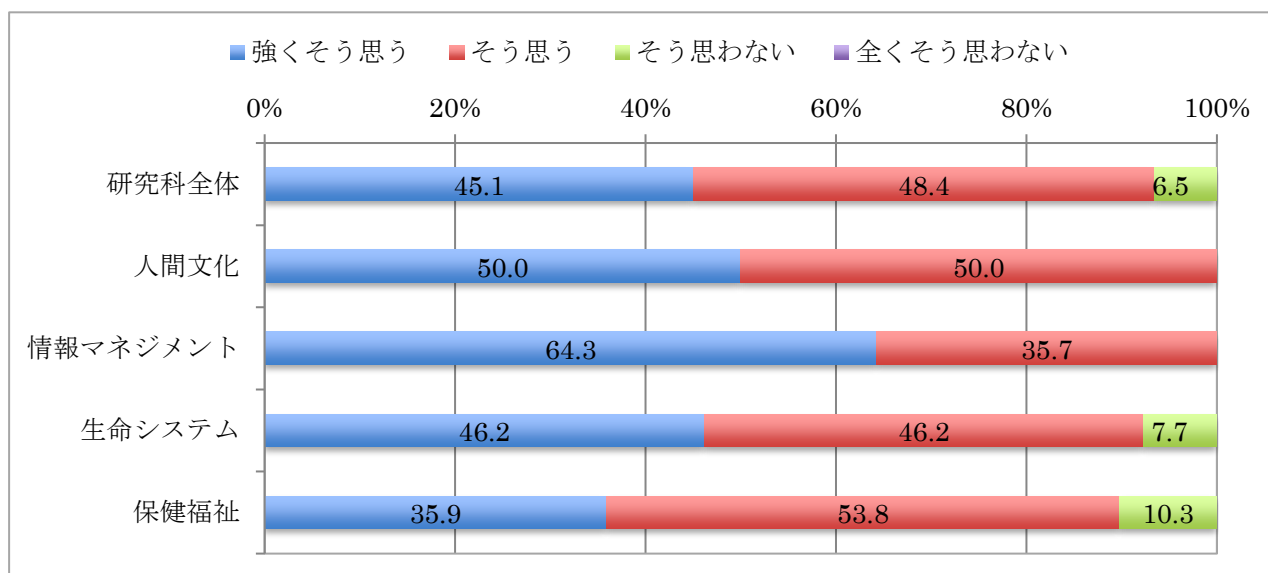
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



研究科全体では、肯定的な回答が多く、おおむね 90%以上が授業内容は適切であると回答している。人間文化学専攻、情報マネジメント専攻は肯定的回答が 100%であった。保健福祉学専攻は 85%とやや少ない。

7. 授業に関し、教員の熱意が感じられる。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



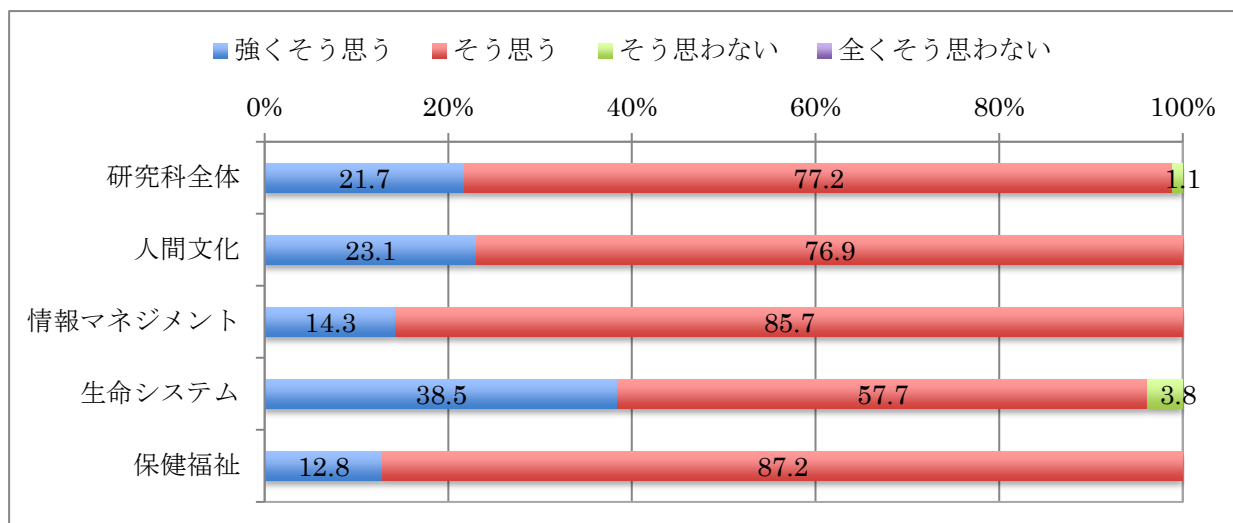
研究科全体では、教員の熱意が感じられるかという質問に対して 93.5%が「強くそう思う」または「そう思う」と回答している。

人間文化学専攻、情報マネジメント専攻では肯定的回答が 100%であった。

【成績評価に関する質問】

8. 授業の成績評価は適切に行われている。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------

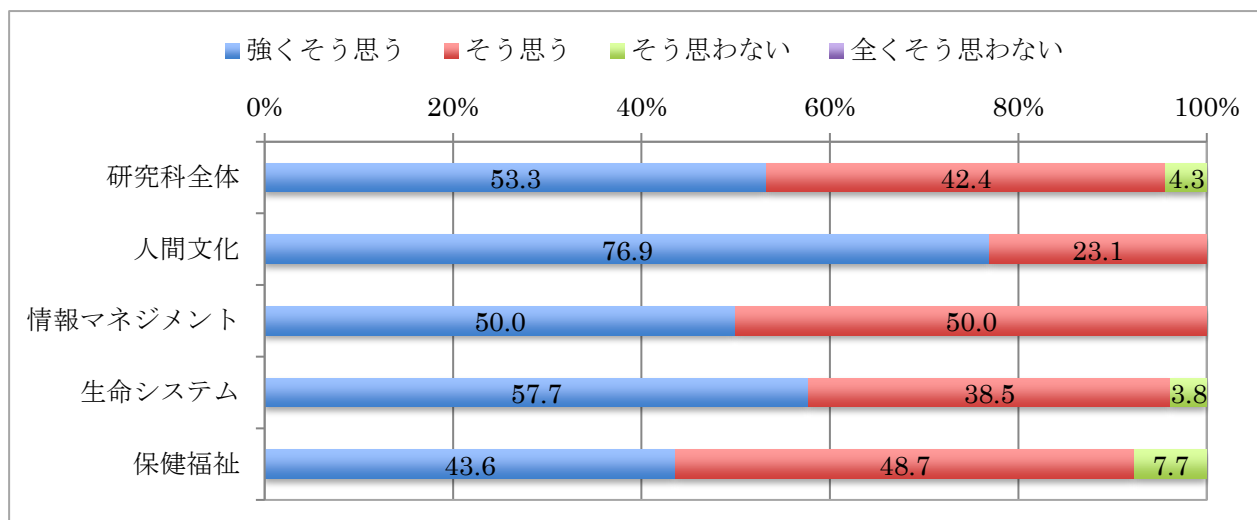


研究科全体では、肯定的な回答は98.9%であり、授業の成績評価は概ね適切に行われている。

【研究指導に関する質問】

9. 専攻での研究指導は適切に行われている。

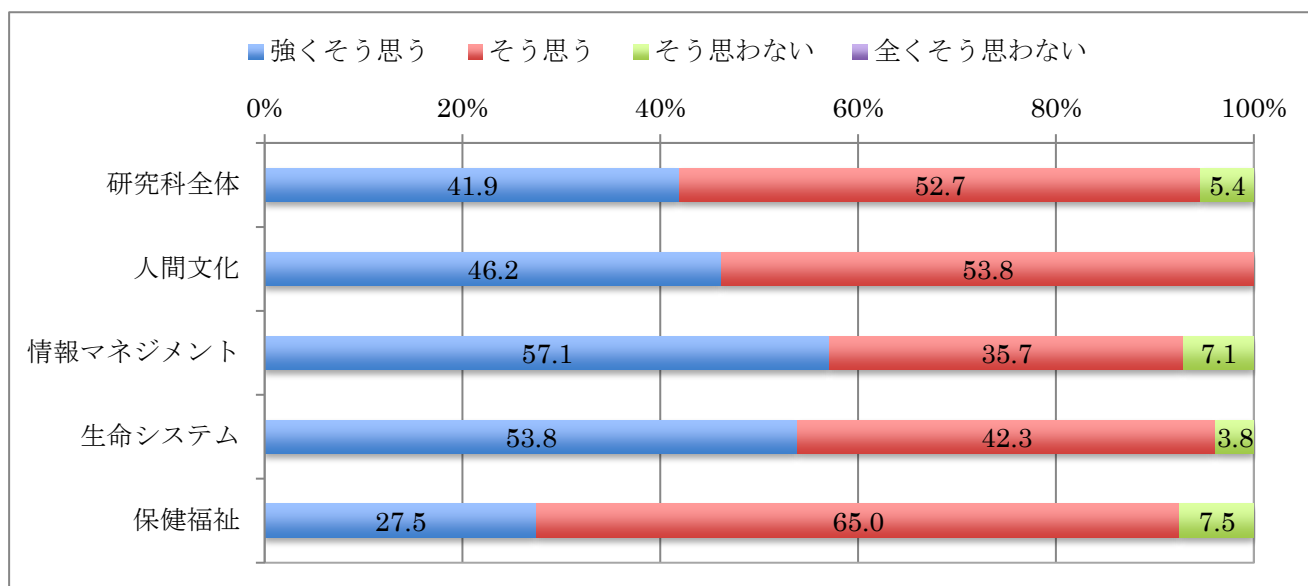
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



研究科全体では、95.7%が肯定的な回答であり、研究指導は適切に行われている。人間文化学専攻、生命システム科学専攻では肯定的な意見が100%満足であった。

10. 現在取り組んでいる研究テーマに満足している。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------

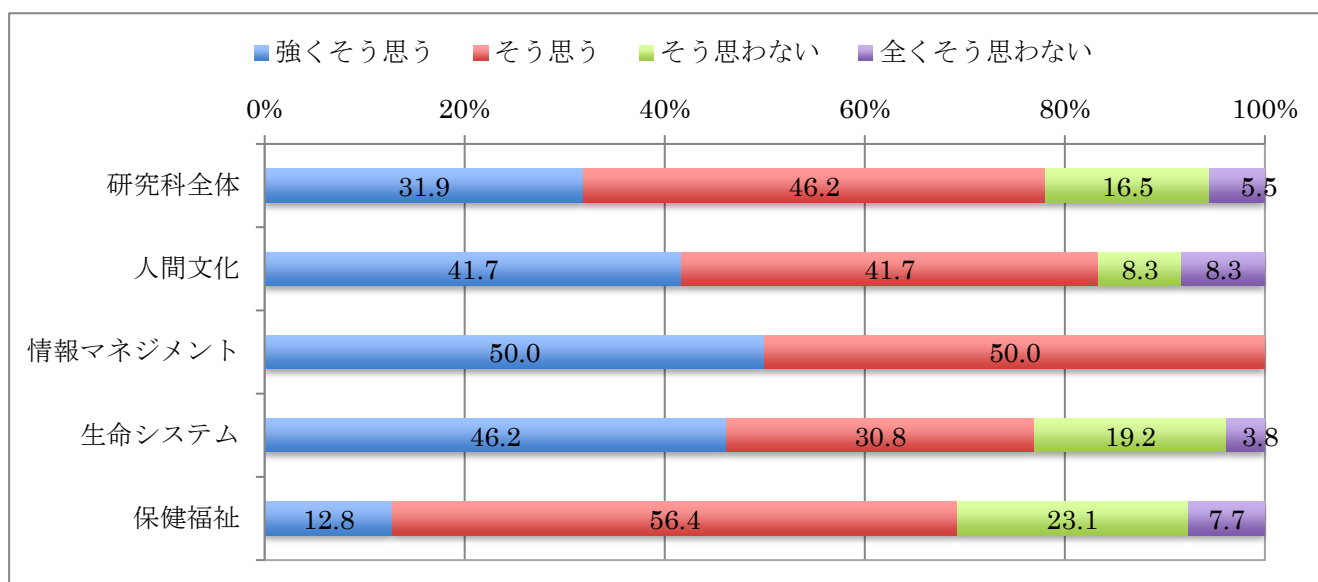


研究科全体では、94.6%が満足しており、今後も維持していくことが望まれる。

【研究環境に対する質問】

11. あなたの研究環境（実験室）は、質・量ともに良好だ。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------

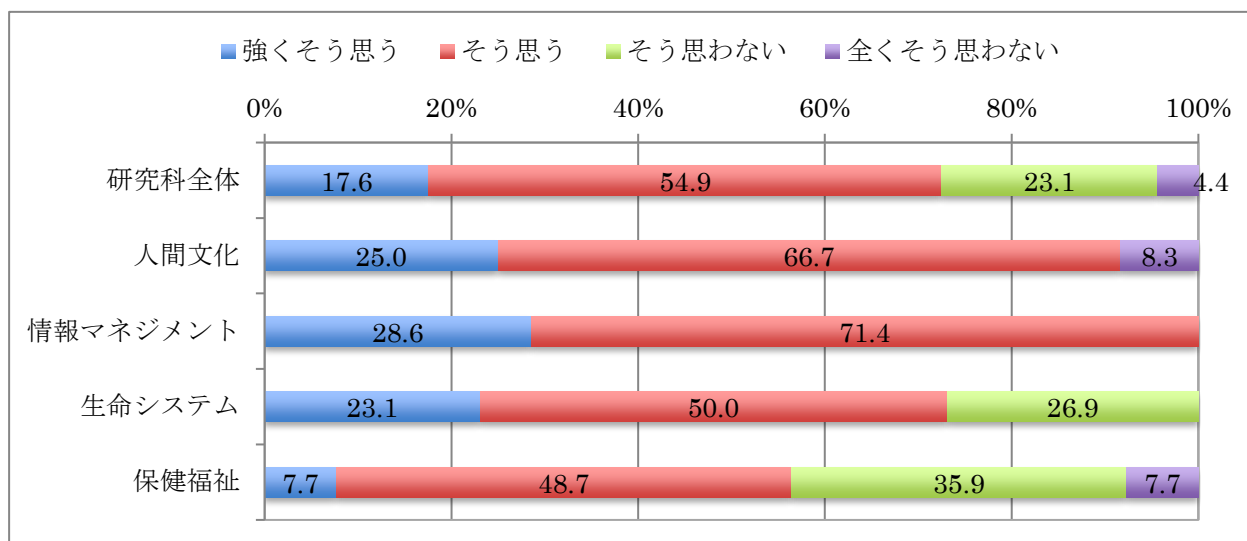


研究科全体では、肯定的な回答は78.1%である。

生命システム科学専攻、保健福祉学専攻では「そう思わない」「全くそう思わない」の回答がやや多い。環境整備が必要な部分を確認し対応が必要である。

1 2. あなたの研究環境（実験機器）は、質・量ともに良好だ。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------

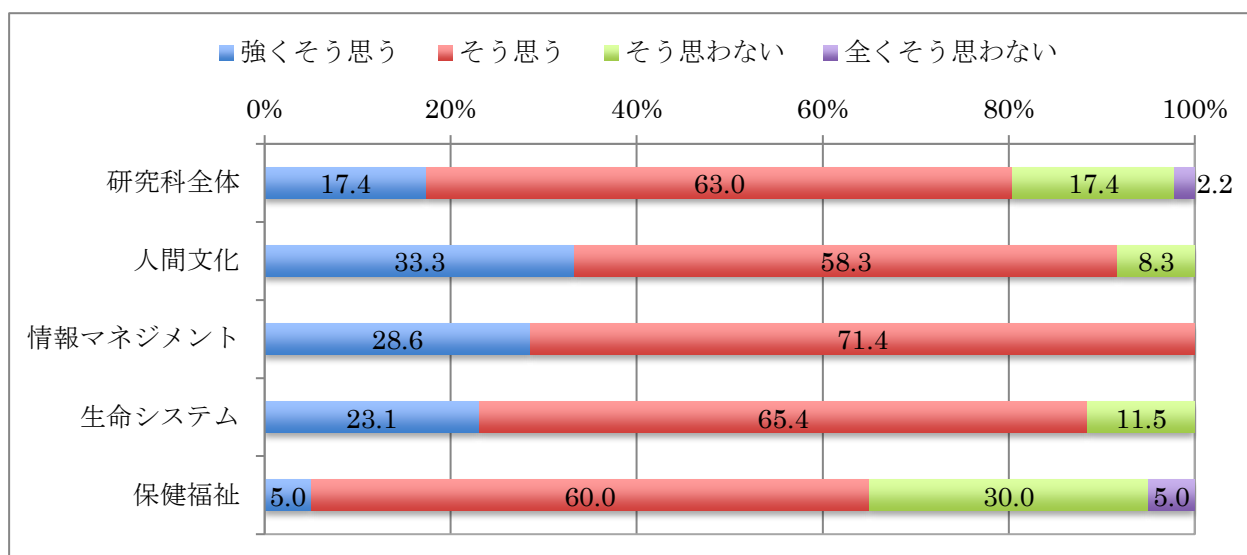


研究科全体では、肯定的な回答は72.5%ある。

保健福祉専攻では、「そう思わない」、「全くそう思わない」との回答が43.6%あり、実験機器について、計画的に整備を検討する必要がある。

1 3. あなたの研究環境（図書）は、質・量ともに良好だ。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------

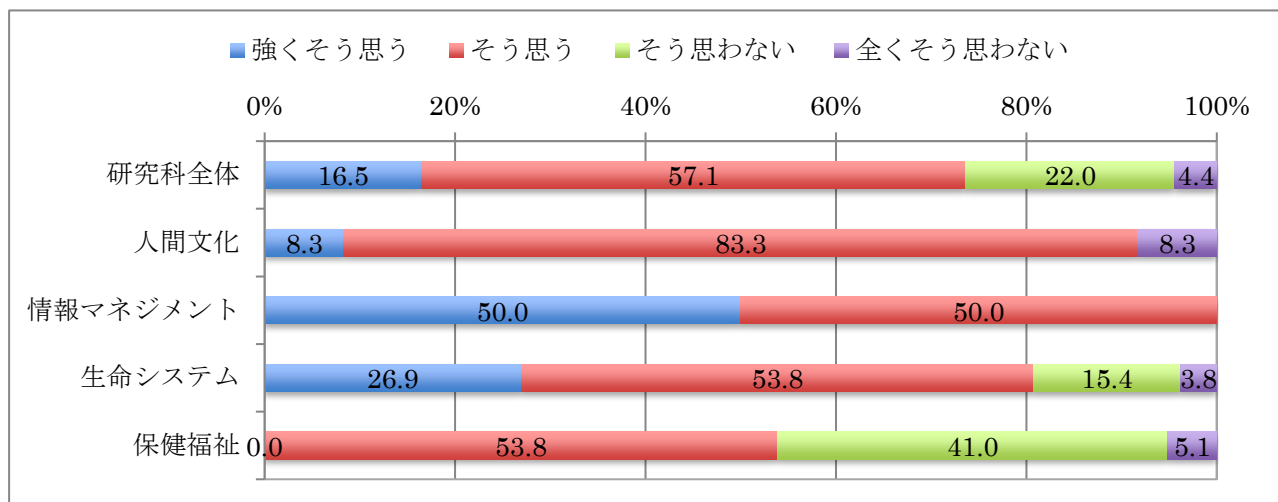


研究科全体では、肯定的な回答は80.4%であった。

保健福祉学専攻では35%が「そう思わない」、「全くそう思わない」と回答しており、学生の要望について検討する必要がある。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により図書館の使用の制限があったことも要因と考えられる。

14. あなたの研究環境（コンピューター）は、質・量ともに良好だ。

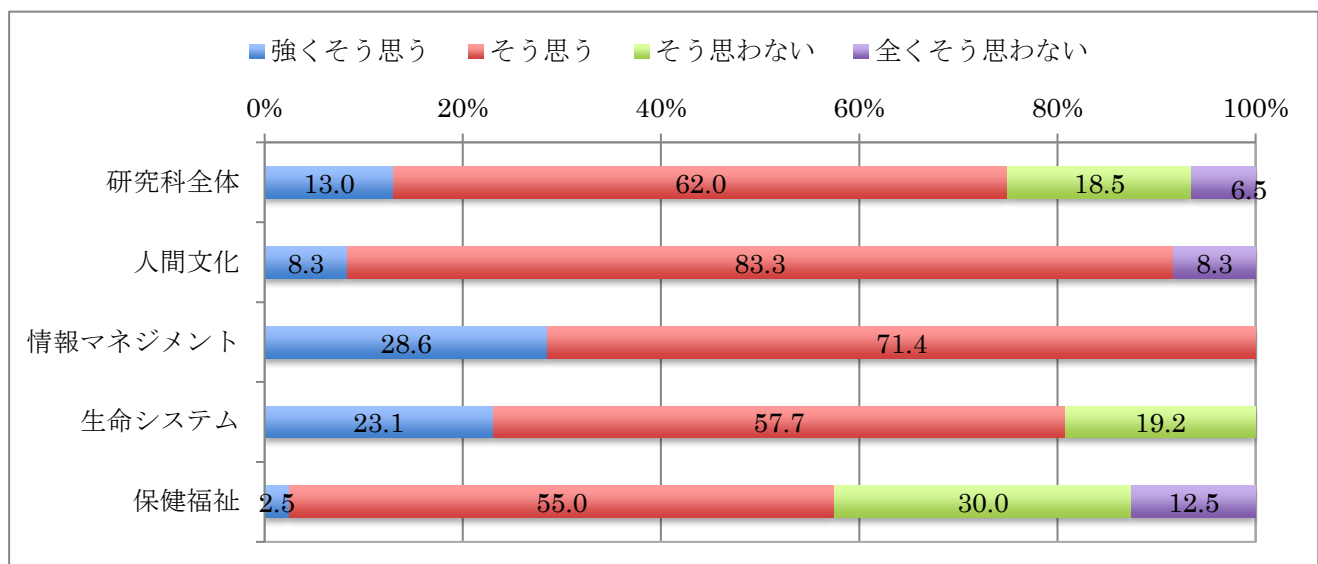
1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------



研究科全体では、肯定的な回答 73.6%である。保健福祉学専攻は 46.1%、生命システム科学専攻は 19.2%の学生が「そう思わない」、「全く思わない」と回答しており、学生の要望について検討する必要がある。

15. あなたが使用できる大学院生としての研究用スペースは適切だ。

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------

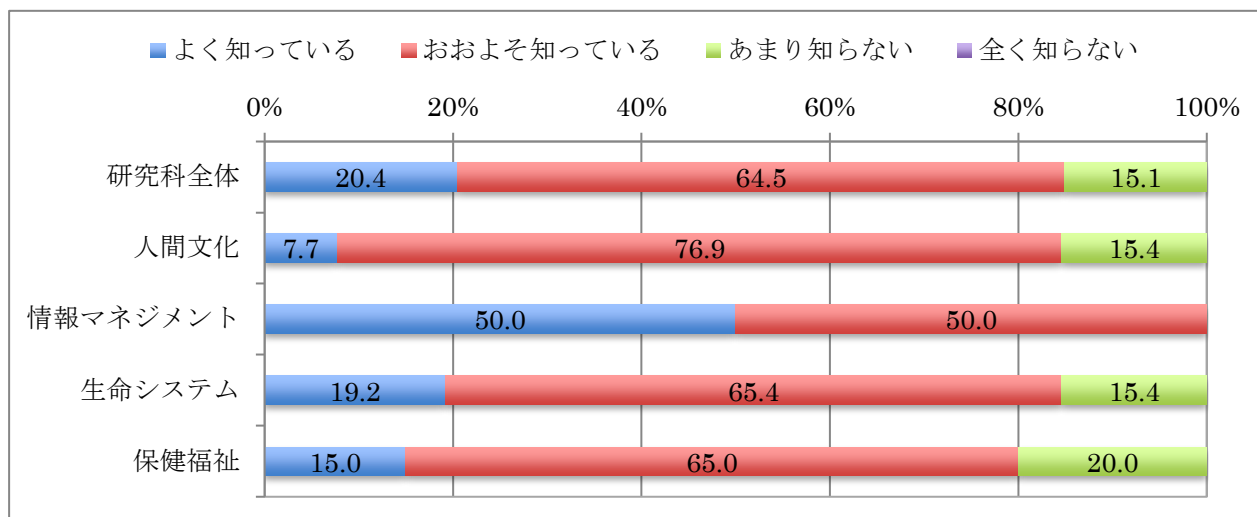


研究科全体では、肯定的な回答は 75.0%である。配属学生の多い研究室については、十分なスペースを確保できない場合があることが課題となっており、検討を行う必要がある。

【学位取得に関する理解に関する質問】

16. あなたは在籍する課程において、学位を取得するためにはどのような前提条件を満たさなければならぬか、研究科や専攻の規則や規程を知っている。

1	よく知っている	2	おおよそ知っている	3	あまり知らない	4	全く知らない
---	---------	---	-----------	---	---------	---	--------



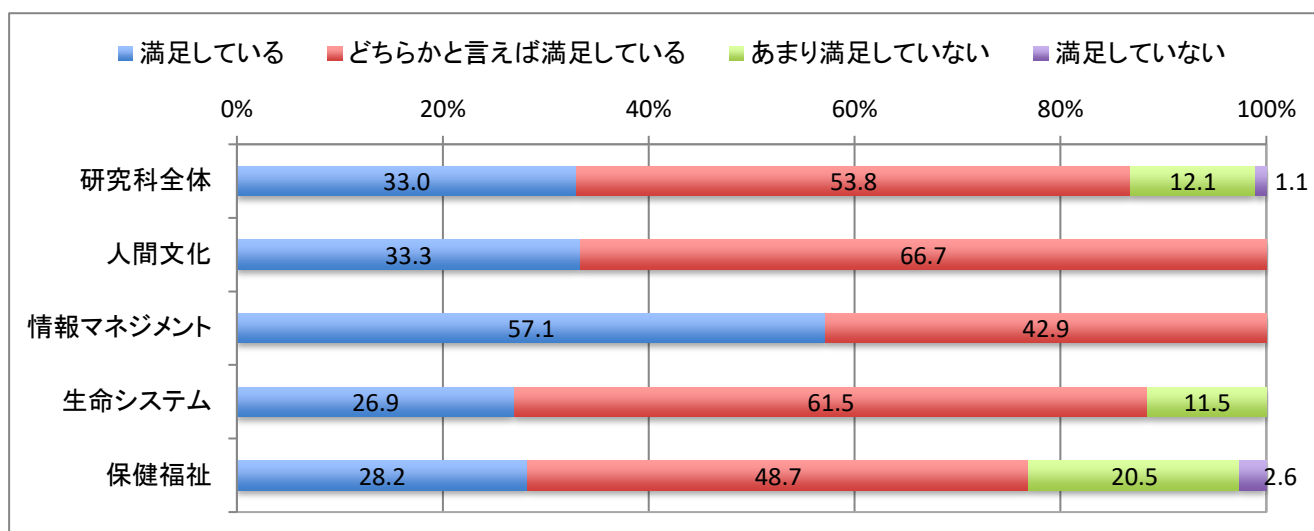
研究科全体では、肯定的な回答は84.9%であり概ね周知はされている。

各専攻における「学位論文審査及び最終試験実施要領」及び「学位論文に係る評価基準」については、本学ウェブサイトに公開している。

【オンライン授業に関する質問】

17. 今年度のオンライン講義の満足度。

1	満足している	2	ある程度満足している	3	あまり満足していない	4	満足していない
---	--------	---	------------	---	------------	---	---------

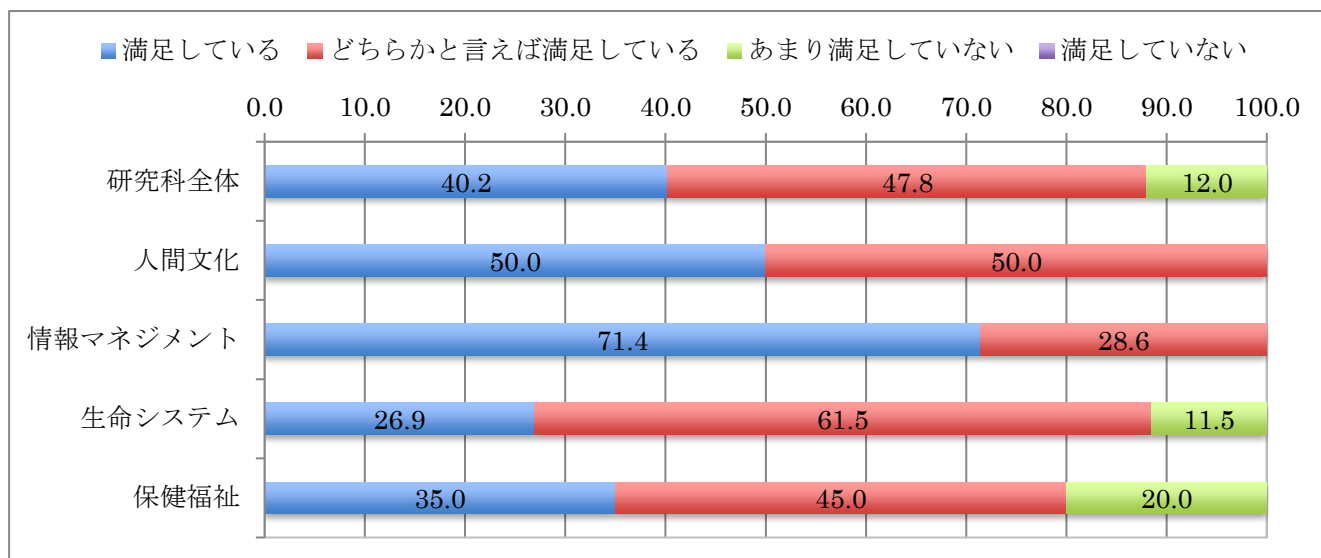


研究科全体では、肯定的な回答は86.8%である。新型コロナウイルス感染症拡大により急遽導入したオンライン授業であったが概ね満足の高い授業が提供できている。実習を伴う授業が多い保健福祉専攻では肯定的な意見が若干少なくなった。

【オンライン研究指導に関する質問】

18. 今年度のオンライン研究指導の満足度

1	満足している	2	ある程度満足している	3	あまり満足していない	4	満足していない
---	--------	---	------------	---	------------	---	---------

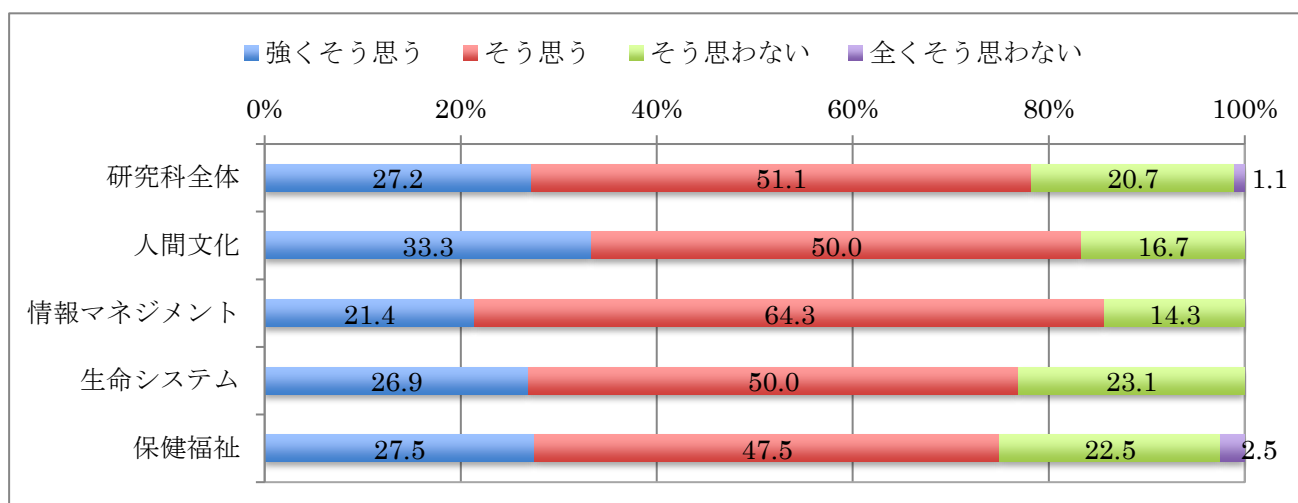


研究科全体では、肯定的な回答は88.0%である。新型コロナウイルス感染症拡大により研究指導も急遽オンラインに切替った中、概ね満足度の高い研究指導が実施できた。

【オンライン授業に関する質問】

19. 次年度以降もオンライン講義・研究指導形態を取り入れてほしいですか。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



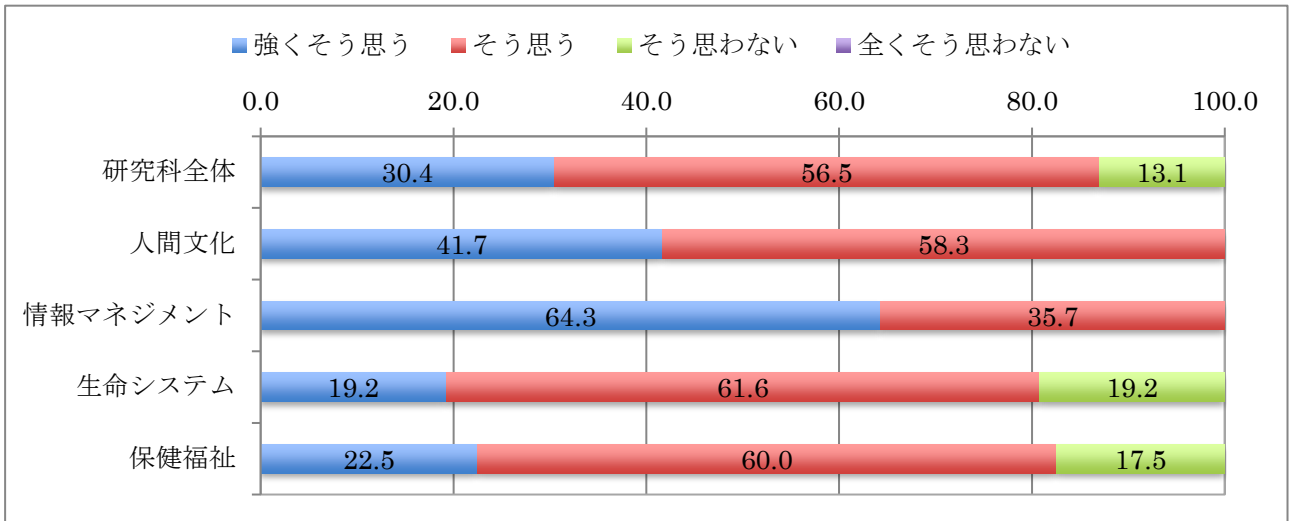
研究科全体では、肯定的な回答は78.4%であった。

オンライン授業やオンライン研究指導の満足度は概ね高かったが、満足度に対して継続希望は若干低い値となった。今後も継続してオンラインを導入する場合は、導入部分については検討が必要。

【大学院に対する満足度に関する質問：全体と修了予定の院生】

20. あなたは総合的に判断して、この大学院に満足している。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------

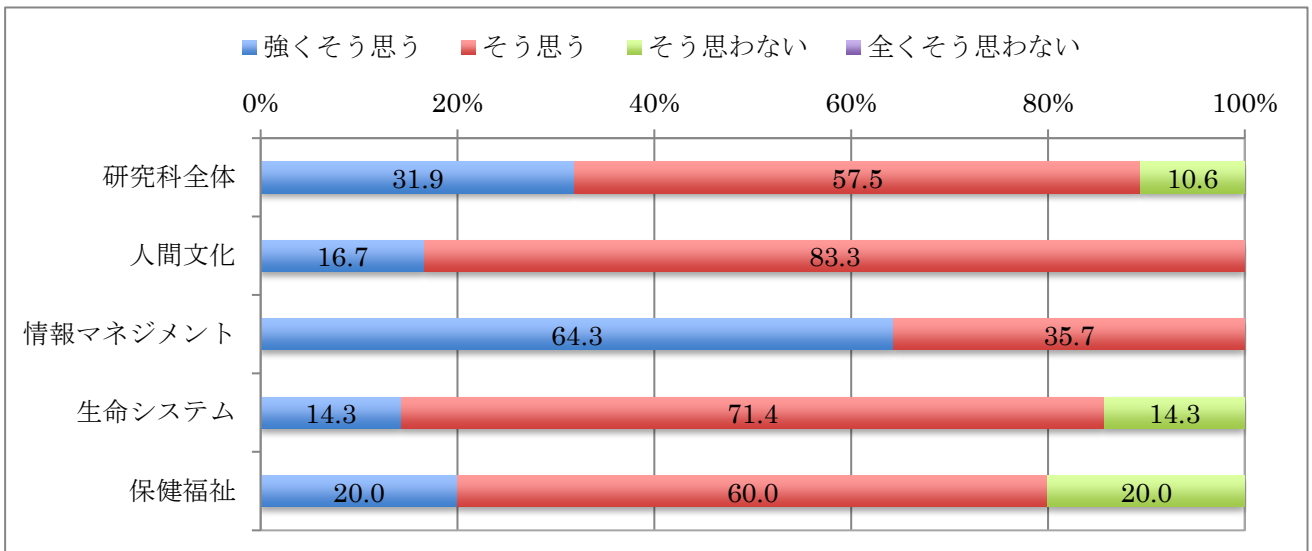


研究科全体では、肯定的な回答は86.9%である。生命システム科学専攻は6.1%，保健福祉学専攻は4.4%全体に比べて低い値となっており，学生の要望を把握し，改善策を検討する必要がある。

【修了予定院生の大学院に対する満足度に関する質問】

21. 本年度修了予定の院生のみに関きます。あなたは総合的に判断して、この大学院に満足している。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



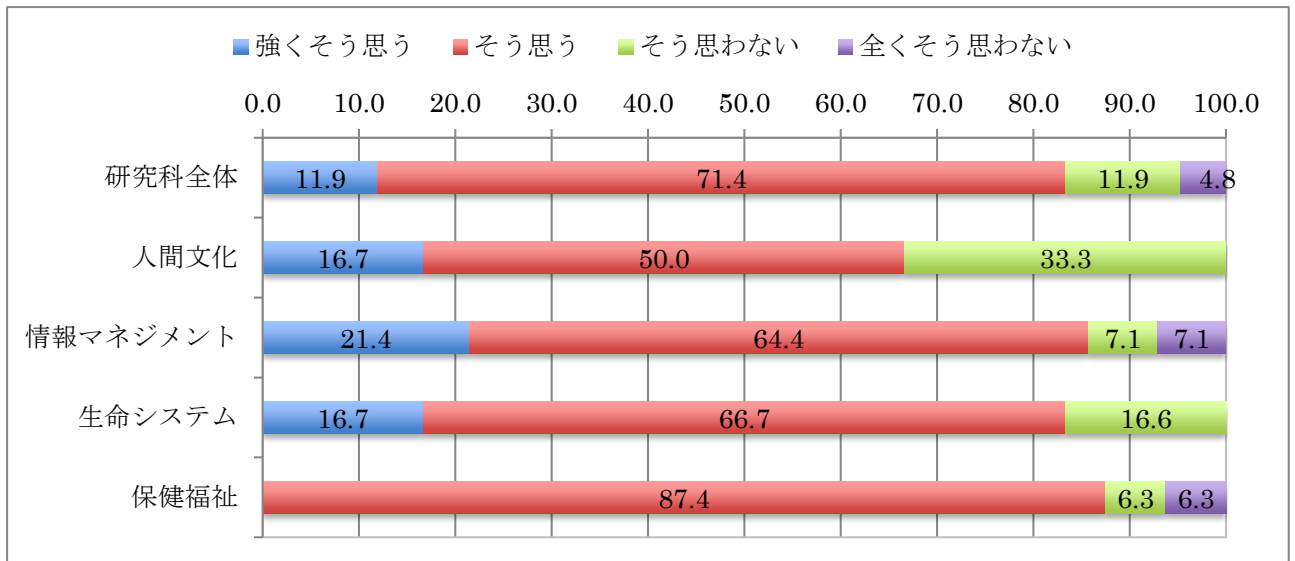
研究科全体では、肯定的な回答は89.4%である。

保健福祉学専攻は20.0%，生命システム科学専攻では14.3%「そう思わない」「全くそう思わない」と回答しており，全体に比べて低い値となっている。研究環境の満足度が低いことから全体の満足度が低くなったと推測される。今後，改善の検討が必要である。

【修了予定院生の就職に対する満足度に関する質問】

2.2. 本年度に修了予定の院生に聞きます。内定した就職先については満足している。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



研究科全体では、83.3%が肯定的な回答である。